

## ボランティアセンター日誌



1月6日(木)

### ろうそくを神戸市に贈った

「阪神淡路大震災1.17のつどい」で灯すろうそく作りを、12月4日(土)エーガイヤちくさで実施し、770個のろうそくが出来上がった。

参加者は小学生から大人までの21名。「僕は震災を知らないけど、神戸で追悼式があるのは知ってる」「僕らがつくったろうそくが、そこで灯されるんや」

ろうそくで千種と神戸がつながった。1.17を忘れないで語り継ぐため、ろうそく作りも続けていきたい。

(千種支部 小原志のぶ)

## ボランティアセンター日誌



### みんなで凧づくりに挑戦!

12月24日(金) 播磨一宮凧の会

神戸幼稚園で凧づくり教室が行われ、28名の子どもたちが参加した。この日は、播磨一宮凧の会(代表=田中豊彦さん)のみなさんや、白鷺紙鷺会(代表=本窪田邦和さん)から3名の応援もあり、子どもたちは講師の話を真剣に聞き取り組んでいた。凧づくりは初めてという子どもたちが多かったが、思い思いの立派な凧が完成。出来あがった凧は、お正月に一宮の空を彩ることでしょう。みんな上手に出来たね!

(本部・一宮支部 波多野好則)

## ボランティアセンター日誌



「奉仕の心は母ごころ」がわしらの活動のスローガン!



包丁研ぎと並行し、モグラ除けの風車も16本作成。希望者のお宅へ配ります

### 男ボラ「はげまし会」の包丁研ぎ

12月5日(日) 三方町進藤ブリキ店前

「ボランティア はげまし会」は一宮北中学校区に住む職人が集まり結成された男性のボランティアグループで、平成2年に結成以来、介護が必要な方の散髪、簡単な家屋の修理などひとり暮らし高齢者の生活を手助するグループとして活躍されている。

今回は、年末年始に向けて何か出来る事はないかと、13名が集まり「包丁研ぎ」が行われた。

会員それぞれが、希望者の自宅まで包丁の回収に行き、包丁や鉈、ハサミなど約60本を預り、作業に取りかかった。

「職人の集まりやで、道具も全部自分らで持ち寄ってな。年に数回はこうやって集まってボランティアしとるんや。去年の災害の後も、ひとり暮らしの家に行って、手伝いたんやけど、涙ながらに『ありがとう』言うてもろて。それが一番の活動の源になっとる。それとボランティアした後の一杯もまた格別でな(笑)」と代表の進藤隆史さん。

これからも、貴重な男性の職人グループ「ボランティア はげまし会」の活躍を期待しています。

(本部・一宮支部 田中祥仁)



ぼらんちゃん